

みずほCustomer Desk Report 2017/03/22 号(As of 2017/03/21)

【昨日の市況概要】

				公示仲値		112.40
	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	USD/CHF	GBP/USD	AUD/USD
TKY 9:00AM	112.57	1.0737	120.88	0.9989	1.2370	0.7730
SYD-NY High	112.86	1.0819	121.84	1.0003	1.2495	0.7750
SYD-NY Low	111.55	1.0719	120.63	0.9922	1.2341	0.7683
NY 5:00 PM	111.74	1.0808	120.77	0.9938	1.2477	0.7690
USD/JPY Volatility 1M ATM (NY Close Lvl)			8.4/8.825	△25RR	0.688	Yen Call Over
NY DOW	20,668.01	▲ 237.85	債券市場	日本2年債	-0.2540	0.1bp
NASDAQ	5,793.83	▲ 107.70		日本10年債	0.0660	▲0.9bp
S&P	2,344.02	▲ 29.45		米国2年債	1.2598	▲2.9bp
日経平均	19,455.88	▲ 65.71		米国5年債	1.9466	▲3.8bp
TOPIX	1,563.42	▲ 2.43		米国10年債	2.4175	▲4.3bp
シカゴ日経先物	19,030	▲305.00	為替市況	独10年債	0.4590	1.9bp
ロンドンFT	7,378.34	▲51.47		英10年債	1.2530	1.9bp
DAX	11,962.13	▲90.77		豪10年債	2.8080	▲1.4bp
ハンセン指数	24,593.12	91.13		USD/CNH	6.8723	▲ 0.016p
上海総合	3,261.61	10.80		ドルインデックス	99.81	▲0.60
USDJPY 3M Vol	9.75	0.30%	商品市況	CRB指数	184.288	▲0.49
USDJPY 6M Vol	9.59	0.25%		NY金	1,246.50	12.50
EURJPY 3M Vol	11.62	▲0.16%		WTI	48.24	▲0.67
EURJPY 6M Vol	10.85	▲0.09%		Dubai Spot	50.40	0.86

【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
3月21日	9:30	RBA議事要旨	-	-
	18:30	CP(前月比/前年比)	2月 0.7%/2.3%	0.5%/2.1%
	17:20	ダトリーNY連銀総裁講演	-	-
3月22日	1:00	ジョージ・カンザスシティ連銀総裁講演	-	-

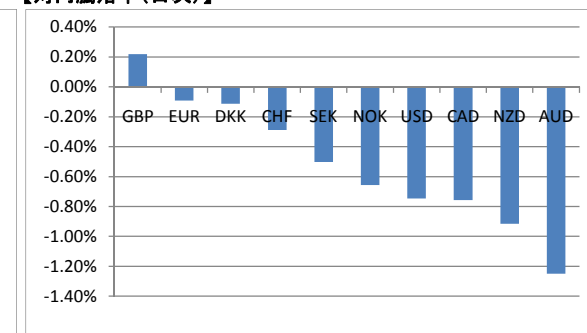
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
3月22日	7:00	メスター・クリーブランド連銀総裁講演	-	-
	8:50	日銀議事要旨(1/30-31開催分)	-	-
	8:50	貿易収支	2月 ¥ 807.2B	¥ 1087.6B
	20:00	MBA住宅ローン申請指数	-	3.1%
	23:00	中古住宅販売件数	2月 5.55M	5.69M

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	110.70-112.20	1.0750-1.0880	120.00-121.00

【マーケット・インプレッション】

昨日の海外市場のドル/円相場は、大幅下落した。米長期金利が低下、ダウ平均やナイトセッションの日経平均先物が下落したほか原油先物相場も軟調推移するリスクオフの流れにドル売り円買いが強まった。ドル/円は112円半ばを下抜けると売りが加速し、112円ちょうどを切るとストップロス巻き込みながら一時、111.55円をつけ昨年11/28以来の水準まで売り込まれた。なお、ジョージ・ミカンザス連銀総裁が「バランスシート縮小はすぐには起きないだろう」と述べるも影響は限定的であった。本日のドル/円相場は、海外時間の流れを引き継ぎ、上値の重い展開を予想する。先週のFOMCにてドットチャートが据え置かれたことを確認後、米利上げ期待を背景とするドル買いは見込みにくい。また、トランプ大統領の政権運営に対する不信感が株高の調整といった点に表れ始めており、リスク選好度の低下による円買いにつながりやすく下値リスクの煽る地合となりそうだ。

東京	東京時間のドル円は112.57レベルでオープン。日経平均株価が先週終値より100円超下落して寄り付いた後、下げ幅を拡大させた動きを受けて、ドル円は東京時間安値となる112.26まで下落。その後、麻生財務相より「G20で為替に関する考え方がこれまでと変わらないことが明らかになった」との発言が見られたものの、G20が米国の意向を強く反映した内容になったことは周知の事実であり、マーケットの反応は極めて限定的であった。午後にかけて、日経平均株価の反発に引っ張られる形でドル円は上昇に転じると、一時高値となる112.86まで上昇。その後は目立った材料が無い中、112円台後半でレンジ推移が続き、112.74レベルで海外市場に渡った。(東京15:30)
ロンドン	ロンドン市場のドル円は112.74レベルでオープン。特段の材料無い中で小動きが続き、112.60レベルでNYに渡った。ポンドドルは1.2352レベルでオープン。英2月CPIが2013年9月以来の大幅な伸び(前年比+2.3%)を示し、英中銀ターゲットに達したことを背景に1.2474まで上昇。1.2453レベルでNYに渡った。ユーロドルは1.0770レベルでオープン。前日の仏大統領選テレビ討論会後の世論調査で、視聴者の38%が「最も説得力のある候補者はマクロン氏」と回答し、極右政党・国民戦線(FN)のルペン党首(33%)を上回ったことが好感され、ユーロは上昇する展開。2月20日来の高値となる1.0812まで上昇し、1.0796レベルでNYに渡った。(ロンドン17:00 00531 444 179 山本)
ニューヨーク	NY時間のドル円は112.60レベルでオープン。朝方、オバマケアについてキング・NY州共和党下院議員が「(新案が)下院を通過するほどの多数票が得られるかはわからない」と発言したことなどが取り上げられ、トランプ政権の最優先課題であるオバマケア代替法案が難航しているとの見方から、マーケットが期待している大幅減税や財政拡大の実現が難しいとの懸念が一気に高まり、リスク回避ムードが台頭。またドット・フラク法の撤廃について民主党議員が「法案通過を阻止するだろう」と述べたことも材料視され、金融セクターを中心に米株が大幅下落し、ドル円は111.83まで値を下げた。その後も米金利・米株の下落を背景に、ドル円は年初来安値(111.59)を下抜け、一時安値となる111.55まで下落した。引けにかけては111.80付近で上値重く推移し、111.74レベルでクロスした。一方、ユーロは1.0796レベルでNYオープン。朝方は米金利の下落を受けて高値1.0819まで上昇。しかし、年初来高値水準では戻り売り意欲も強く、その後は1.0810近辺で上値の重い推移が続き、1.0808レベルでクロスした。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

担当: 山本・西谷